

# 平成15年度学力向上フロンティア事業中間報告書

( 和歌山県 )

## 学校の概要 (平成15年4月現在)

野上町立野上小学校										
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数	
学級数	2	1	2	2	2	2	1	12		
児童数	45	40	46	56	45	48	2	282	16	

## 実践研究の概要

### 1. 研究主題

わかる喜び、学ぶ意欲を持つ児童の育成  
～基礎・基本の確実な定着をめざして～

### 2. 内容と方法

#### (1) 実施学年・教科

2年生国語 国語科における読む力・書く力・話す力を基礎学力ととらえ、それらを確実に定着させるための指導の在り方を探るため

3年生算数 一人一人が楽しく学べる算数学習をめざして

4年生算数 一人一人が楽しく学べる算数学習をめざして

5年生算数 算数科における計算力を基礎学力ととらえ、それらを確実に定着させ算数科の力を伸ばすための指導の在り方を探るため

全学年算数 T T・少人数指導の効果的な指導バランス

#### (2) 年次計画

##### テーマ

わかる喜び、学ぶ意欲を持つ児童の育成  
～基礎・基本の確実な定着をめざして～

##### 仮説

子どもたち一人一人が基礎・基本を確実に身につけることができれば、わかる喜びを感じ意欲をもって学ぶことができる。

##### 研究内容・方法

- a. 児童の学力の実態を明らかにする。 (学力調査の実施・分析)
- b. 基礎・学力向上のための取組み (朝読書の継続・充実)  
(昼学習：百ます計算)
- c. きめ細かな指導の工夫・改善 (算数科少人数指導：全学年)  
(国語科少人数指導：1・4年)
- d. 評価規準の作成と授業実践 (授業研究、研究授業公開)

平成  
14  
年  
度

平成15年度

テーマ	わかる喜び、学ぶ意欲を持つ児童の育成 ～基礎・基本の確実な定着をめざして～
仮説	子どもたち一人一人が基礎・基本を確実に身につけることができれば、わかる喜びを感じ意欲をもって学ぶことができる。
研究内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 児童の学力の実態を明らかにする。 (学力調査の実施・分析)</li> <li>b. 基礎・学力向上のための取組み (朝読書の継続・充実、音読) (昼学習：百ます計算)</li> <li>c. きめ細かな指導の工夫・改善 (算数科少人数指導：全学年) (国語科少人数指導：2年)</li> <li>d. 評価規準の作成と授業実践 (授業研究、研究授業公開)</li> <li>e. 共同指導体制づくり (チーム担任制)</li> </ul>

平成16年度

テーマ	わかる喜び、学ぶ意欲を持つ児童の育成 ～基礎・基本の確実な定着をめざして～
仮説	わかる喜びを感じ、意欲をもって学ぶことができれば、自ら学び自己の学力を向上させ、より積極的に学習課題に取り組む子どもが育つ。
研究内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 児童の学力の実態を明らかにする。 (学力調査の実施・分析)</li> <li>b. 基礎・学力向上のための取組み (朝読書の継続・充実、発表) (昼学習：百ます計算)</li> <li>c. きめ細かな指導の工夫・改善 (算数科少人数指導：全学年) (国語科少人数指導：3年)</li> <li>d. 評価規準の作成と授業実践 (授業研究、研究授業公開)</li> <li>e. 共同指導体制の確立 (教科担任制)</li> </ul>

(3) 研究体制

学校 教育 目標	研究 目標 (改)	学年部会	低、中、高 学年別	校内授業研究の充実、教材・課題研究 研究資料の充実	各部会メンバー
		教育部会	a 学ぶ力 部会	どの子にも力をつけるために 学力調査、百ます、補充問	明治、赤阪、松尾、岡本、尾花 中野、小林、高岡、森田、吉本
		部会	b 創る力 部会	その子のよさを生かすために 漢字検定、	山本、坂本、新谷、直川、増谷 尾崎、山本、津村、阪上
		部会	c 生き抜く力 部会	どの子にも生きる力をつける 生活アンケート、体力テスト	椎山、安田、井岡、南坂、 中谷、笠井、津村、城山

部会の名称及び研究内容を一新した。

## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究の成果

#### < 児童の学力の実態をあきらかにする >

- ・具体的なデータとして、算数科で実施した「学力検査」により明確な成果が表れた。特に、14・15年度と同じ検査を実施し、その比較からも大きな学力の向上の一面が顕著にでている。(資料1参照)

#### < 基礎・基本の確実な定着 >

- ・昨年度に引き続き、「百ます計算」「朝読書」に全校的に取り組み、継続の力で児童の計算力に加え、基本的な算数の用語、定義の理解など高まっている。
- ・今年度より、漢字力アップをめざして「漢字検定」(希望者)に取組み始めたが、漢字学習の意欲が増した。

#### < きめ細かな指導の工夫・改善 >

- ・児童一人一人のつまずきや理解の不十分さを早く発見し、適切な対応ができた。また、一人一人に目が行き届き生徒指導面でも効果が上がった。
- ・学年間で協力して教具づくり(模型等)に取り組むことにより、個に応じた指導に役立ち、児童の学習意欲が増した。
- ・指導と評価の一体化を図るため、単元導入時のレディネステスト、単元途中のミニテスト、終了時の補充学習等を行い、より個に応じたきめ細かい指導ができた。
- ・「自主学习ノート」を活用し、授業のまとめや問題づくり等児童の意欲の向上が見られた。

#### < 児童の反応や保護者の声 >

- ・保護者に対しては、少人数指導等によるきめ細かな指導によって、一人一人の基礎・基本の確実な定着をめざすことを説明し理解と協力を求めてきた。また、授業参観では、少人数指導の授業を積極的に公開し、アンケート等により保護者の反応を探った。その結果、その取組に対して多くの賛同的な意見が寄せられた。
- ・児童自身の反応や学習に対する感想等のアンケート結果にも、授業にのぞむ姿勢や意欲の高まり等において、指導の大きな成果が表れてきている。

ティームティーチングの授業は、やはり全員に先生の目がいきとどいて、取り残される児童がなくなり、学力アップにつながると思います。小学校の算数は、中学校・高等学校に上がるための大切な基礎を学ぶ時期だと思えます。【保護者1】

少人数(2クラス)でやるのは、賛成です。特に算数などは、1回の授業内容で理解できる子と理解しにくい子と分かれることが多いので、今日のように一人一人に手の届く授業は良いと思います。なるべく全員に発言(発表)の機会を与えて活気のある自活的な授業であってほしいと思います。【保護者2】

先生がそばに来てくれたのでくわしく勉強することができた。きちんと発表できてよかった。【3年女子】

私は、 $\text{cm}^2$ や $\text{m}^2$ のような単位があるなんて初めて知りました。おもしろかったことは1目盛り何 $\text{cm}^2$ の図形などをさがすことでした。面積をもとめる計算もおもしろかったです。これからも少しアップした面積ももとめてみたいなあと思いました。【4年女子】

< 協同指導体制の確立 >

- ・児童の学習をより個に応じてきめ細かな指導ができる体制を組むことができた。
- ・少人数指導や複数教員が協力して授業を行うことを通して、指導力の向上や教材研究の深まりがみられ、その指導方法を教職員全体で協議することにより、学校全体としても効果が上がった。

2. 今後の課題

- ・学年、学級全体では、学力向上がみられたが、家庭生活に起因する情緒不安定児童や学習習慣のできていない学習以前の問題を抱えている子どもたちへの対応など解決の難しい問題が残されている。これらの解決のためには、家庭との連携による生活の立てなおしが不可欠である。
- ・習熟度別少人数指導における児童の「学習コース選択」の場合、高学年の段階で自己選択できる能力を、中学年のころから養っておく必要がある。
- ・単元全体の指導計画において、効果的な指導方法の組合せが大切であるが、途中で児童の実態に応じて修正を加えていくことも重要である。
- ・学級担任制を生かしつつも、多様な子どもの状況やニーズに応えられる指導体制（チーム担任制）の確立をめざす必要がある。

学力把握のための学校の取組について

(1) 定期的な学力調査の実施（年1回－2年目）

(資料1)

標準学力テスト結果一覧表

①算数科

実施日 平成15.4.23 & 平成16.4.25

学年	受験者数		総合成績					全国平均点	
	14年	15年	14偏差値	15偏差値	14評価	15評価	昨年比	14年	15年
小2	52	45	53	<b>58</b>	3	4	+1	50	55
小3	64	52	53	<b>55</b>	3	4	+1	50	51
小4	42	66	<b>55 ※</b>	54	<b>4 ※</b>	3	-1	49	48
小5	48	45	<b>55 ※</b>	54	<b>4 ※</b>	3	-1	47	47
小6	59	48	53	<b>59</b>	3	4	+1	44	50
合計	265	256	54	<b>56</b>	3	4		48	50

国語科

学年	受験者数		総合成績					全国平均点	
	14年	15年	14偏差値	15偏差値	14評価	15評価	昨年比	14年	15年
小2	52	45	48	<b>55 ※</b>	3	4	+1	44	51
小3	64	52	52	50	3	3	・	46	44
小4	44	66	53	54	3	3	・	46	46
小5	48	45	52	52	3	3	・	44	44
小6	59	48	51	53	3	3	・	45	47
合計	267	256	51	53	3	3	・	45	46

昨年度、初めて実施し、それまでの少人数指導の成果が表れてきていた。今年度は、全学年でのT・T & 少人数指導の成果が問われることになっていた。結果は以下の通りである。特に、2年間を比較した場合、やはり日々の研究実践の取組みが大きな一定の成果となっははっきり出ていると言えよう。

#### フロンティアスクールとしての成果の普及について

- ・ 現職教育の研究のまとめ（実践記録と各部会の取組みを掲載）を作成し、近隣各校へ配布。
- ・ 研究概要や実践例等の研究内容の積極的な情報公開→ホームページへの掲載

<http://www.cypress.ne.jp/hp10005579/>

- ・ 研究発表会 日時 平成16年6月26日（土）開催予定  
場所 和歌山県海草郡野上町動木1445 野上町立野上小学校  
対象 郡内、県内はもちろん広く県外にも参加を呼びかける。（HPにて）  
目的 研究の成果を研究授業・実践発表を通して広く公開する。
- ・ フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績として  
日時 平成15年5月14日（水） 場所 野上小学校 ランチルーム  
内容 町内合同現職教育の場で、学力向上フロンティア校の取組みを発表。  
日時 平成15年8月18日（月） 場所 海南市市民会館  
内容 10年経験者研修講座 「学校評価の意義・学校評価の実践例」の講師として、講義（発表）を行う。

【新規校・継続校】                    15年度からの新規校                     14年度からの継続校

【学校規模】                            6学級以下                             7～12学級  
   13～18学級                            19～24学級  
   25学級以上

【指導体制】                             少人数指導                             T・Tによる指導  
   一部教科担任制                            その他

【研究教科】                             国語                                    社会                                     算数                                    理科  
   生活                                    音楽                                    図画工作                            家庭  
   体育                                    その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】                     有                                    無